

高西地区 から こんにちは
今月の 気になる人

東津野支所管内より

まだまだ頑張ります

やました よしあき
山下 吉昭さん (75)

津野町力石で土佐甘とうを4アール栽培している山下さん。「まだまだ頑張ります!」と、いつも元気に微笑みます。ちなみに、趣味を伺うと「無趣味なのが趣味」なのだそうです。



大野見支所管内より

おいしいミニトマトをどうぞ

まちだ しんのすけ
町田 真之介さん (39)

町田さんはフルーツミニトマトを栽培する地元でも有名な「まちだ農園」の経営者です。「町田さんのトマトを食べたら、他のトマトは食べれん」と言われるほど甘くて美味しいトマトは、地元や直売所、県外にも発送しています。今後は仲間を増やし、施設園芸や農業の発展のため貢献したいと話してもらえました。



興津支所管内より

ピーマン、食べてみて!

むらた かずや
村田 和哉さん (59)

ハウスピーマンを16アール栽培する村田さんは、ピーマン部会の部会長を務められています。息子さんや外国人研修生2名と協力し、ミョウガの栽培も行うほか、趣味が野菜作りという筋金入りの農家です。取材時はカラーピーマンを収穫しているとのことで、こちらはみどり市にも出荷中。ぜひご賞味ください!



四万十支所管内より

部会を盛り上げていきたい!

たけよし たいすけ
武吉 泰典さん (29)
みか
美加さん (32)
ゆうま
悠真くん (1)

グリーンセンターをよく利用してくれる武吉さん。ハウスピーマンや自然薯、水稲を栽培し、一家の大黒柱として頑張っています。今年夏秋ピーマン部会部会長に選ばれ、部会を若い力で盛り上げることが目標とのこと。また、将来子供が後を継ぐと言ってくれるような農業経営が出来たらいいなと思っています。悠真君も、もうすぐお兄ちゃんになりますよ!!



梶原支所より

みんな食べに来てね~

にしむら のりこ
西村 典子さん (63)

梶原町六丁で飲食店を営んでいる西村さん。また、隔月で開催される牛市では、唐揚げ、卵焼き、うどんを販売。会場ではうどんを食べながら、農家同士で情報交換ができる場となっています。「ランチも夜もやりゆき、みんな食べに来てね~」
※牛市は高原家畜市場(津野町北川)で毎奇数月の20日に開催しています。



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 四万十地域

『ユズ剪定講習会』を開催



剪定部分などを確認しました

2月末、ユズ生産部会とゆず研究会はそれぞれ普及指導員を招いて剪定講習会を開催し、多くの部会員が参加しました。春のような陽気の中、次々と落とされる枝に参加者からは「こんなに切っても大丈夫なの？」など声が上がりましたが、隔年結果を少なくし収穫効率も上げるための剪定方法を真剣な眼差しで確認しました。また、バッテリー式剪定鋏の実演も行い省力化への意識も高まりました。

3 四万十地域

万一に備え備蓄米更新



避難拠点にお米を搬入

2月半ば、四万十町の志和・興津地域の災害避難拠点で備蓄米の更新が行われ、JA販売課職員が四万十町役場の職員と協力し、約4tを搬入しました。両地区は管内の中でも特に地震・津波等による影響が懸念される地区。JAでは行政と連携して、将来予想される大規模災害等の緊急時に備えています。利用される事がないことが望まれますが、今後も定期的な入れ替えを続けていきます。

6 津野山地域

特産品PR方法を伝授



出前授業の様子

2月5日、津野町の東津野中学校で管内の特産品をPRする出前授業が行われました。同校の総合学習の一環で、5月9日に津野町アンテナショップの「満天の星」で特産品を販売することになっており、地元産品の課題や現状などを農協職員が説明しました。生徒からは商品陳列の工夫や、販売に対する思いなどの質問が挙がり、学年主任の河添紀男先生は「授業を通じて故郷の産業を知ってもらえれば」と期待していました。

4 津野山地域

茎わさび生育状況視察



収量増加を目指します

2月5日、管内の茎わさび栽培農家が津野町の圃場視察を行いました。昨年は寒さで苗が思うように育たず収量が半減したため、今年は大きめの苗で対応しました。この日は他の管内の生育状況を確認し、いかに葉を大きく育てるかという課題を共有しました。夏秋栽培の津野山地域では、茎わさびは冬場の貴重な収入源となります。今年は10アールあたり3.5tを目標にしています。



防護服の着脱を学ぶ参加者

1 四万十地域

養豚産地で防疫強化演習

2月22日、四万十支所で高知県肉用子牛価格安定基金協会主催の「豚コレラ及びアフリカ豚コレラ防疫演習」が行われ、家畜保健衛生所職員や養豚農家ら約50人が参加しました。家畜伝染病豚コレラは世界各地で発生が確認されており、日本では岐阜県、愛知県で被害が発生しています。同協会の長崎浩専務理事が豚コレラの症状、特性などを解説。「消毒剤の効果期間に注意し、定期的な確認を」と、徹底した防疫対策を呼びかけました。畜産農家では、日頃から踏み消毒槽の設置や車両の消毒などの対策が行われていますが、岐阜県では野生イノシシから豚コレラの陽性個体が見つかったことから、生態に詳しい特定非営利活動法人四国自然科学研究センターの葦田恵美子氏が講演を行いました。イノシシへの対策として柵の設置のほか、周辺の藪の刈り取りなど養豚場への接近を防ぐ方法に参加者は熱心に聞き入っていました。



柵は適切な設置が重要です

2 津野山地域

鳥獣被害対策勉強会を開催

2月14日、梶原町四万川で鳥獣被害対策の勉強会が開催されました。町の有害鳥獣被害対策協議会が野生鳥獣対策連携センターの阿部豪さんを講師に迎え、JAの鳥獣被害対策専門員や四万川地区の住民ら約20人が管内で行われる対策について理解を深めました。阿部さんは、動画を交えて野生鳥獣の習性や危険性などを解説したうえで、「箱罠は仕掛けたからといってすぐ入るわけではない。十分な餌付け期間が必要。監視カメラを利用するなどして罠に誘導できていくか確認してほしい」と呼びかけました。野外実習では阿部さんの指導のもと、参加者が電気柵やワイヤーメッシュの正しい設置方法を実演しました。また、花火や電動ガンを使って動物の追い払い方法も体験しました。参加者は「野生鳥獣が実際に畑などを荒らす場面を見たりはなかったが、動画で分かりやすく解説してくれたので対策方法が分かった。」と話していました。

四万十地域より

2020年度 園芸用ハウス整備事業のご紹介

園芸用ハウス整備事業とは

JA高知県が事業実施主体となり園芸用ハウスを建設し、農家にレンタルする補助事業です。必要経費の一部を県と町に補助を行って頂くことで、農家の投資を少なくし安心して施設園芸に取り組んで頂くための事業です。



事業区分が下記のとおり分かれており、補助対象限度額および補助率が異なります。

補助対象限度額と補助率 (2019年度分のため2020年度分は変更の可能性があります)

事業区分	補助対象限度額(10アール当)		補助率	
	一般ハウス	軒高・高強度ハウス	県	町
①新規就農区分	800万円	1,000万円	2/5	町により異なる
②規模拡大区分	700万円	1,000万円	1/3	〃
③高度化区分	700万円	1,000万円	1/3	〃
④流動化区分	450万円	—	1/4	〃
上乗付帯設備	流出防止装置付燃料タンク	130万円 / 基	1/2	〃
	養液栽培設備	300万円 / 10アール	各事業区分の補助率	
	ヒートポンプ・木質バイオマスボイラー	300万円 / 10アール	〃	
	環境制御装置 (CO2 必須)	100万円 / 棟	〃	

※上記の他にも、拠点整備区分、研修区分等があります

事業区分の内訳

- ①ハウス園芸に取り組みたい新規就農者(5年以内)や、新たにハウス園芸に取り組む場合
- ②ハウス園芸の規模拡大に取り組む場合
- ③古くなったハウス(15年以上経過)の高度化(建て替え)に取り組む場合
- ④他人が所有または利用していたハウスを修繕や移設をして経営に取り組む場合

建設までの流れ

要望▷設計▷計画書作成▷地域協議会審査▷JA地域役員審査▷JA本所理事会審査▷県審査
 ↳決定▷入札▷建設▷レンタル開始

※多くの審査を経ますので、要望=導入とならない場合がございますことを了承願います。

2020年度(2020年4月~2021年3月)の導入を希望される場合は、遅くとも9月頃までには要望をお伝え頂きますようお願いいたします。(2019年度分の受け付けは終了しています)

【連絡先】 JA高知県 四万十営農経済センター 営農指導課 島岡 ☎0880-22-5179
 JA高知県 津野山営農経済センター 営農指導課 中越 ☎0889-62-2335

えいのう〜



津野山地域より

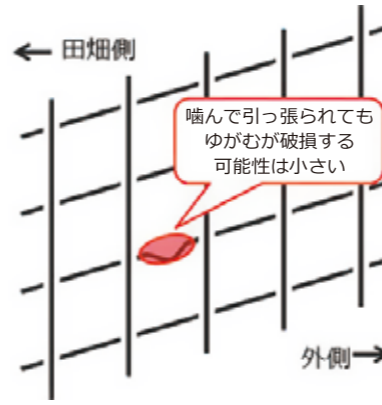
今後の鳥獣被害対策について

防護柵編

せっかく設置した防護柵も、設置の仕方が甘かったり思わぬ所に隙間があったりしては何の効果も発揮しません。以下の点に注意して農地と農作物を守りましょう。

①柵には裏表があります。**縦線が獣側**です。搬入された際には、互い違いに積んでありますのでそのまま設置しないでください。反対にすると強度が約4割下がると言われています。

②接地面との隙間を作らないようにしましょう。必ず一番下の横線が地面に接するようにしっかりと踏み込んでください。イノシシの鼻が入ればそこから侵入を許してしまいます。



③柵の継ぎ目はマス重ねて強度をあげましょう。また、つなぎ目はしっかりと番線で結び、最低3箇所は止めましょう。

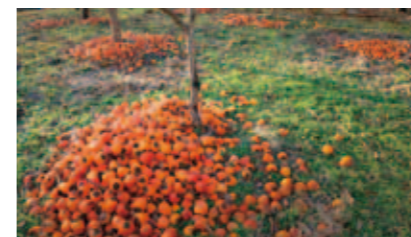
④段差を作らないようにしましょう。段差がある場合は崩すか、形状に沿って柵を加工し地形に沿わせるようにして下さい。

⑤トタン柵は目隠しを兼ねた良い方法ですが、負荷もかかりやすく破損に気づかない事があります。しっかりと補強して下さい。



稲刈り・収穫後の注意!

稲刈り後はきちんと柵を閉めましょう。ひこばえは全て獣害を呼び寄せる原因となります。放置果樹、くず野菜を柵に捨てるのもやめましょう。



被害対策は積み重ねが大事です。被害にあってもあきらめず、足し算することを考えましょう。

加害獣を特定して対策を行うことも大切です。獣用の暗視カメラもありますので、遠慮なく相談して下さい。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

明るさも寂しさもあり雛の段
白梅や父の遺せし香りとも

武政礼子

抱えられ老いの一票梅びより
山越えの日だまり淡く冬董

市川和美

たかむら
篋のきらめきたつや春陽ざし
捨ておきし剪定の梅花明かり

今橋孝子

大寒を待ちて始めし干大根
足摺の道に散り敷く藪椿

玉川治美

春の空二羽の鶯の独演場

東風強しはしき庭先小枝まふ

田中信子

白寿祝ぐ吾早春の目覚めかな
節分に吾の齡思ひ驚きし

竹内春猪

鬪病いもとの妹に似たり梅一輪
平成も吾も最後の年賀かく

西宮正衛

絵にかけば星は黄色や冬木立
一月の河口はいつも番鴨うがいがも

西森美好

日を呑みし枯野にほのかハウスの灯
吊橋のかかる湯の宿冬うらら

長谷部延子

人影は我一人なり枯野行く
密柑つむ山の色また海の色

渡辺小梅

短歌

窪川短歌教室

今日の日が過ぎれば二日減ってゆく卒寿と米寿のふたりの時間

岩井 房子

初詣での帰路みづからに言ひきかす怪我、病氣する徒遣ひする

黒岩 やよえ

山道に転がり落ちた艶つつやの粟一粒にたつぷりの秋

文野 美恵子

与謝野晶子のやうに詠へと夫言へり無理よあなたも鉄幹じやない

市川 浩子

年賀状に老老介護と書きながらがんばらねばと吾に言いきかすあ

島岡 紀美

卒業近くはじめてつくるロールケーキ十五の思いキラキラちりばめ

岡村 香代子

雨漏りの廂を二間取り除けば窓に温とし睦月のひざしにげん

市川 隆子

仕事の手めずらしく留めし夫と観る女子駅伝を最終区まで

北村 さちこ

病みあげの声のはずみに安堵する百歳の君は少年のごと

宮崎 美紀代

俳句・川柳

なん回も聞いたはずだがもういちど

四万十町 長山修自

朝起きて何をしようか日が暮れる

梶原町 松山松美

もっこりと藁を担いだ福寿草

津野町 村田三喜子

短歌

小ぶりでも初の人参道の駅売れて嬉しい明日も楽しい

津野町 竹崎千鶴美

おたよりから

【各支所連絡先】

四万十支所(旧JA四万十本所)

0880-22-0003

梶原支所(旧JA津野山本所)

0889-65-0111

興津支所

0880-25-0002

東津野支所

0889-62-2211

大野見支所

0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141